

(別紙2-1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年 4月 15日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4270202700		
法人名	有限会社 エクセル		
事業所名	グループホーム あたご		
所在地	〒858-0918 長崎県佐世保市相浦町 138-2		
自己評価作成日	平成24年2月15日	評価結果市町受理日	平成24年4月24日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4270202700&amp;SCD=320&amp;PCD=42">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4270202700&amp;SCD=320&amp;PCD=42</a>
--------------	---

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号
訪問調査日	平成24年3月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"><li>入居者の意向を尊重し、外出をしたり、施設行事を計画する際の参考として、意見をお聞きし、外食や、花見・初詣などのイベントを考えおこなっている。</li><li>天気が良い日の、外での体操や、散歩を行っている。</li></ul>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

<p>ホームは、商店街といった生活しやすい環境の中に建てられています。長年居住されている利用者が多く、近隣の人々との協力体制も築かれています。</p> <p>その人らしい暮らしを支援していくために、残存機能を活かしながら出来る事をゆっくりと、一緒に支え合っていく事を大切に考えられており、全職員が共通意識を持って日々の支援に取り組まれています。</p> <p>内外の研修に積極的に参加されており、職員の提案も取り入れて、職員の働く意欲を引き出しながら、ゆとりを持ったケアに繋がられています。また、職員全員が利用者の状況を把握しながら、家族との意見交換にも積極的に取り組まれています。</p> <p>入居者が歩んで来られた背景を尊重しながら、入居者を最優先とした支援を実践されています。</p>
--

(別紙2-2)

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆっくり・いっしょに・楽しく」の理念のもと、カンファやミーティングにて共通の意識や、目標を持ち、取り組んでいる。	一人ひとりのペースに合わせて、ゆっくり焦らず出来る範囲で、一緒に支えて合っていく事を会議で話し合い、日々のケアを通してながら、実現に繋がられています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内のおくunch等の行事・地域清掃など積極的に参加している。	地域住民との協力が体制が築かれ、祭りではホームがバザー会場となり、交流の場となっています。また、園児や子供たちの訪問を入居者は心待ちにされている様です。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居者の方の作品展を地域の方に見ていただいたり、運営推進会議の際、町内会長・民生委員の方のお話の中で、随時相談や機関の相談・紹介を行ったり、「あたたかより」という情報誌を配布している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の開催し、民生委員・町内会長・市担当者・職員が出席し、意見交換を行い、町内行事予定などを把握し、入居者様が参加できるように検討を行ったり、施設の近況報告などを行っている。	定期的な会議の中で、地域や行政から情報や助言が得られるなど、積極的な意見交換が行われています。今後のホームの取り組みやケアに活かされる会議内容となっています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	佐世保市主催の研修に積極的に参加しており、関係部署には、施設だよりを持参している。また運営推進会議にて施設行事・職員その他主催の研修出席の報告と同時に意見交換を行っている。	いつでも相談出来る関係が構築されており、「あたたかより」を持参する等、日頃の入居者の様子を知って頂くための努力が見られます。	

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束の研修に参加したり、いかなる場合でも拘束を行わないように、ケアの方針について検討するように、日々意識を持って取り組んでいる。</p>	<p>言葉や行動で制限や抑制をせず、行動の理由から導き出された対応策や代替法により、入居者の心に寄り添ったケアを実践されています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>定期的に研修に参加したり、全体会議にて話し合いを行い、防止に努めている。</p>	/	/
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度の理解の為、研修に参加している。入居の際には、必ず身元保証人を2人立てていただいております。現在の所、制度の活用には至っていない。</p>	/	/
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>日程調整を行い十分な時間を取り、説明を行っている。家族の不安や疑問に対し、納得できるまでの、わかりやすい説明を心掛けている。また、変更が生じた際は、随時、説明を行い同意を得ている。</p>	/	/
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会の際や、運営推進会議参加の折など、施設生活での気づきや、施設に対する要望などを聞くようにしている。またアンケートを実施し、意見を伺ったりしている。</p>	<p>行事や外出先等、入居者の声が反映されています。家族からは、面会時や家族会、アンケート調査により意見等が得られており、ホームの運営に活かされています。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回のミーティングで意見交換を行ったり、それに加え、年1回の個人面談を行い、個々の職員の意見を聞くようにしている。</p>	<p>外部研修で学んできた事を取り入れるなど、職員の意見を大切にされています。また、各職員の事情を踏まえ、働きやすい環境づくりに努められています。</p>	

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は個々の向上心や、やりがいの為に環境整備に努められている。また職員の勤務・健康状態の把握の為に、折にふれ、フロアにて日中勤務される事も多い。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的に研修を開催したり、資格取得の為に研修・講習参加を支援している。後日、他の職員へ指導したり、勤務の中で実践を行っている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会や介護支援専門員研修にも積極的に参加し、情報交換を行っている。また、他事業所の施設見学を行っている。</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人がどのような生活を送りたいのか。また、その生活を送る上でどのようなことに一番困っておられるのか。ご本人と家族の希望する事をもとに話を聞き取るように努めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>申し込みに至った経緯やご家族の支援状況、利用者を取り巻いていた環境についてなど、またこれからの不安や希望等を詳しく聞き取り、関係作りに努めている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>必要以上の支援は今までの自立を後退させる可能性があり、相談内容を見極め、できることの安全な継続と、その人らしい生活を続ける為、施設職員だけではなく、専門家のアドバイスいただくなどの努力をしている。</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の生き方などを聞かせていただいたり、昔の話などから、人生のお手本になる事をよく話していただいている。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との今までの歴史を大切に、施設での日常生活の様子を面会時や家族通信でお伝えし、離れて暮らす不便さを補い、支援している。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居の際、今まで交流のあった、ご友人・ご近所の方の面会や手紙のやり取りなどすすんで受け入れている。	老人会への参加や友人の訪問なども支援されており、家族や知人、日頃の入居者との会話から知り得た情報をもとに、馴染みの人や場所との関係の継続に努められています。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日頃の生活で、トラブルがあると、間に入り関係調整に努めている。又お互いに声をかけやすいように、性格などに合わせた座席配置にし、いろいろな作業も楽しくできるように心掛けている。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	「家族」としての関わりを大切に、契約終了後も、連絡をとり、施設行事の参加・見学などを呼びかけている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所前の聞き取りや、施設の中での生活を見たうえで、ご本人の体調に合わせ、可能な限り、ご本人の希望に添うように努めている。	入居前に家族や前利用事業所から、性格や不安な事等の細かい情報を聴取し、表情や行動等、小さなサインを見逃さない様、全職員で意向の把握に努められています。	

24	<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前の面談において、ご家族から、在宅での様子、利用されていたサービス事業所での様子などの様子、必要に応じて、提供事業所への聞き取りなどを行い、把握するように努めている。</p>		
25	<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>毎日の生活を共に رفتり、会話をすることで、ご本人の状態把握を行う。特記などを細かく記録し、職員間で、情報を共有している。</p>		
26	<p>10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族の意見や要望に重点をおき、計画を作成しているが、定期的な面談や、状況報告に加え、緊急時には電話で状況を報告し意思確認を行っている。</p>	<p>生活を豊かにするために、健康を維持しながら出来ることを継続し、出来そうな事に挑戦してもらう等、本人や家族の意向を踏まえて目標が掲げられています。また、見直しにより現状に即した内容となっています。</p>	
27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日常生活（日中・夜間）の気づきや変化を記録し、重要事項の伝達もきちんと行うようにしている。</p>		
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>外出・外泊の際の移動手段（介護タクシーの利用）など他の事業所などの取り組みを参考にし、情報を取り入れ、入居者に活用できるかどうかなど検討している。</p>		
29	<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>中学生の実習や保育園児の慰問・民間のサークル活動の発表などを、積極的に受け入れている。又、近所の美容室を利用し、美容師との会話で、気分転換をはかっていたりなど、楽しみの1つとして行っている。</p>		

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族の承諾のもと、施設かかりつけ医の受診を行っているが、必要に応じて、適切な医療が受けられるように、専門医の受診など、家族と相談し、行っている。</p>	<p>かかりつけ医の選択は自由です。協力医との協力体制も築かれています。家族との情報交換や報告も適切に行われています。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携を行っており、かかりつけ医院の定期的な看護師の訪問にて、健康観察・相談、患部の状態観察などを行い、常に主治医へ報告を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>施設での日頃の状態を、入院先の病院へ情報提供するのはもちろん、早期退院の為に、地域連携室との情報交換をこまめに行い、施設復帰が可能であれば、受け入れ体制（ケアの再検討・注意事項の確認）などを整える。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に終末期の意思確認について話し合いを行い、施設生活中の本人のADL、認知症の経過に伴い、必要に応じて、他施設入居を家族と検討したり、既に他施設の申し込みもされている入居者の方の現状把握のための、他施設からの聞き取り面談など積極的の受け入れられている。</p>	<p>契約時にホームの方針を説明し、同意も得られています。ホームでの生活が長く継続出来るよう協力医と連携し、家族と相談しながら体制を整えられています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急搬送時の消防署への連絡方法や入居者の方の状態把握、主治医への連絡など、施設内外の研修に参加したり、マニュアルにて学習を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力のもと、火災通報・消火・避難訓練をはじめ、日中・夜間を通し、どの時間帯でも対応できるように訓練を行っている。「となり組」となる近所・地域の協力体制も整えている。</p>	<p>昼夜想定避難訓練が年4回行われ、備蓄の確保や地区の消防団員を含めた地域住民の協力体制も築かれています。定期的なスプリングラ点検等も行われています。</p>	

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として、尊重し、言葉かけも丁寧に対応するようにしている。各職員も、業務中心の言葉かけになっていないか、入居者の方が中心となっているかを、常に振りかえるようにしている。	本人の自尊心を傷つけない様に、言葉掛けや他の入居者への影響などにも配慮されています。職員間でも注意し合い、本人の気持ちに寄り沿った支援を心掛けられています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃から信頼関係を築き、日常生活のいろいろな場面で、本人の意志で決定できるように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人が拒否したり、都合が悪いときは、本人の意向を優先するようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美・理容室の利用や、ご自分の気に入った洋服を着ていただくようにしている。また衣類による温度調節や動きやすく、快適に過ごせる服装に心がけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の方の好みを聞いて、献立に反映したり、調理は行っていないが、間接的に（もやし根切り、豆むきなど）作業に参加されたり、食後の片付けは手伝っていただいている。	入居者の意向を取り入れた献立で、月2回は入居者に好評の赤飯を出されています。畑での野菜の収穫や下ごしらえ、片付けの手伝い等、食に携わる場面も設けられています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カリウム制限・減塩など食事に関し注意が必要な方など、カロリー摂取が過剰にならないように、摂取していただき、毎日、水分量や食事摂取量を記録し、1人、1人の状態把握を把握し支援している。		



42	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食前には、うがいを行い、食後は義歯の洗浄、ご自分で歯磨きされる方以外の方は、介助にて歯磨きを行っている。義歯は夜間、消毒洗浄を行っており、常に清潔な状態を心がけている。</p>		
43	<p>16 ○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>1人ひとりの排泄パターンを把握し、日中のトイレ誘導を行ったり、自力排泄に重点をおき、夜間も声かけを行い、トイレ誘導を行っている。</p>	<p>トイレは各居室にあり、ゆっくり排泄が出来る環境が整っています。水分摂取量を見ながら排泄間隔を把握し、自立に向けた支援が出来るよう記録にも工夫が見られます。</p>	
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食後のトイレ誘導に加え、日中のレクリエーションでの運動、個別のリハビリなどの運動と、バランスの取れた食事提供と水分摂取に努めている。</p>		
45	<p>17 ○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>日曜日以外は毎日入浴が可能となっている。普段の入浴に加え、失禁時に清潔保持の為に入浴している。入浴の際は、入浴剤を使用し、気分をリラックスしていただけるように1人ずつ、ゆっくり入っていただいている。</p>	<p>日曜日以外は1日おきの入浴ですが、希望により柔軟に対応されています。入浴剤や菖蒲湯等の季節風呂、日帰り温泉の利用など、楽しみにつなげる工夫も見られます。</p>	
46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>夜間良眠していただけるように、日中の運動はもちろん、日中でも好きなときに休んでいただけるように、冷暖房による室温調整を行ったり、夜間寝る前の、暖かい飲み物の提供、寒い時期は湯たんぽを使用している。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>内服介助の際は、必ず呼名で確認し、職員で2重チェックを行っている。又、内服の効能・副作用について理解し、内服後の体調の変化など、記録をつけ、職員間で確認を行っている。</p>		

48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>今までされていた、運動・趣味活動などを継続できるように支援している。又、体調に合わせ、風船バレーや茶碗ふきなどの手伝い・塗り絵・体操・歌などを行い気分転換をはかっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>施設行事での外出に加え、家族の協力のもと外出をおこなっている。その他、天候や体調に合わせ、買い物などできるだけ、行きたいときにいけるように努力している。</p>	<p>喫茶や弁当を持つての花見など、季節毎の楽しみのお時間も設けられています。また、行き慣れた散歩道を通る日常的な外出も行われています。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>貴重品は基本、施設でお預かりしているが、ご本人が管理できる状態であれば、自己管理をさせていただいている。外出時に買い物をしていただくなど、お金との関わりも可能な限り、支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人の希望された時や、不安な時など、家族へ電話をかけ、話をしていただいたり、面会が難しいときは、お手紙のやり取りを支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間は日当たりが良く明るい。トイレは個室で使いやすく、キッチンからはフロアが見渡せる為、色々な話題を言葉かけできたり、食事の準備の様子が身近にみられる。</p>	<p>居間には、入居者が製作された季節毎の貼り絵や作品等が飾られ、暖かい雰囲気が感じられます。窓からは畑が見え、野菜などの成長を待ち望まれる姿が見られます。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアは開放的で自分の座席以外にもソファがあり、気のあった方とゆっくりとくつろぐ事が出来る。</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅での生活に近い環境作りを考え、使い慣れたタンス・テレビ・仏壇などを配置し、居心地良く過ごしていただくようにしている。	各居室の入口には手作りの表札や暖簾がかけられ、懐かしい雰囲気が感じられます。馴染みの物や家族の写真などが持ち込まれ、心落ち着く部屋作りに努められています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室・廊下・トイレ・エレベーターの手すりの設置にて、安全に歩行ができる。個室にはトイレがあり、自立した生活が出来るように支援している。		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
		○	2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

(別紙2-2)

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆっくり・一緒に・楽しく」の理念を、施設入り口に掲げ、職員一同、理念に近づけるようなケアを目指して、日々努力している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事参加、小学校や保育園などとも交流が盛んで、中学校の職場体験学習の受け入れなども行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の際、町内会長・民生委員の方から、周囲の高齢者の方の生活の様子や傾向を教えていただき、相談があれば随時応じたり、その方にあつた機関への紹介を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	実績報告やホームでの変化事項などを毎回報告したり、意見交換を行っている。質問事項であげられた事については、次回開催されるまでに、具体的に説明できるように努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	佐世保市主催の研修会には積極的に参加しており、市担当者へ定期的に報告を行っている。関係部署へ「あたご便り」を持参している。		

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>マニュアルは整備してあるが、「拘束」行わず、「心で包む」ケアを心がけている。又、研修会へ参加し、職員同士での話し合いも行っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修・勉強会に出席し、どんなことが虐待にあたるのかを学習したり、定期的に会議を行って、何気ない行動が虐待に値していないか注意を払い、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修や勉強会で学ぶ機会を設けている。現在は活用しておらず、入居の際、必ず身元保証人を2人立てていただいている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際にはホームのしおりにて十分な説明を行い、疑問・不安な点を確認している。入居後、再度聞き取りを行っている。契約時の内容と変更が生じた場合、家族会にて説明を行い、同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎月のご家族への家族通信や面談時などで、苦情・要望を聞き取ったり、アンケートを実施し、出された意見について職員で話し合いを行っている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日常的に意見交換がなされ、また、月1回のカンファレンスは職員皆の意見を聞くことができる。又、年に1回、個別面談が行われている。</p>		

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者もミーティングに参加し、職員1人ひとりの努力や実績を、管理者より報告を受けている。又、職員の働きや努力を、給与に反映してもらっている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得にも意欲的で、その為の研修などの参加も支援している。外部の研修会に定期的に参加し、月1回のカンファレンスにて、報告を行っている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会の会議に参加したり、近隣のグループホームと風船バレー大会を行うなど、イベントに参加している。</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前の面談に状況を把握し、安心してグループホームでの生活が送れるように、本人が困っている事、不安な事に耳を傾け、良いスタートが出来るように努めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族が困っている事、不安な事、希望などを聞き取り、信頼できる関係作りに努めている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人と、ご家族の相談内容を把握し、不安解消や必要とされているサービスを、他の専門家からもアドバイスを頂けるように、努めている。</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昔話や苦労話、ご家族への（気持ち）などを共に分かち合い入居者の方々と日常生活・感情を共感していけるように努めている。畑仕事や調理・作業を一緒に行い良好な関係を築けるように努めている。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の出来事を手紙等で伝えたり、面会の来られた時には、近況報告を行い、話し合いながら、一緒に支援していけるようにしている。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出の際、住んでおられた近所をドライブしたり、馴染みのお店を利用するなど、関係が途切れないように支援している。		
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の関係を把握し、トラブルが起きないように、席替えや居室の移動を行ったり、気の合う者同士、楽しく過ごせるように、さりげなく場面作りをしている。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等で退所されても、お見舞いに行ったり、必要に応じて、本人・家族の経緯をフォローし、相談や支援に努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その方の生活リズムを把握し、出来る限り、意向にそえる様に対応している。又、意思の表現を上手く出来ない方にも、不安を解消できるように努めている。		



24	<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前の情報を家族などから聞き取り、これまでの暮らしを把握するように努めている。また、面会に来られた方からの情報も、聞き取るように努めている。</p>			
25	<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>1日の生活の様子、健康状態（バイタル）、心身の状態を、職員全員で、共有することができるように、記録・申し送りを行っている。また、全てをゆっくり一緒に行う事で、出来る事、出来ない事を把握している。</p>			
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族の意見、要望を反映した介護ができるように、職員全員で話し合い、出来るだけ、本人の希望にそえるように、作成している。また、必要に応じて、主治医の指示を反映した計画を作成している。</p>		
27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子やケアの実践・結果等を、個別に記録し、職員間で情報を共有している。重要な事は、申し送りノートに記入している。</p>			
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その時々で、職員間、またご家族と話し合い、本人・ご家族の希望にそえるよう、出来る限り対応するように努めている。</p>			
29	<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>中学校の職場体験や、ボランティアの受け入れを行っている。入居者の方には、ひ孫さんにあたる年頃の中学生が、とても可愛いようで、一緒にレクリエーションを楽しまれている。</p>			

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご家族の承諾を頂き、当ホームの協力医を受診している。希望があれば、主治医の変更は可能。また、他科受診はご家族の希望の病院を受診している。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>定期的に看護師が訪問しており、情報提供・相談などを行っている。また、緊急な場合は、主治医に相談したり、受診を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された時は、入院機関の医師・看護師・ケースワーカー・ご家族と連絡を取り、安心して、治療ができるように努めている。また、情報交換も常に行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>基本方針を定め、本人やご家族の希望をお聞きしたり、施設で出来る事を説明するなど、早い段階から、支援に取り組んでいる。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当や初期対応を定期的に学び、事故発生時に対応できるように努め、協力医より、アドバイスをいただいたりしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練を行っている。また地域の消防団の皆さまとの訓練や情報交換を行い、近隣の方々の協力体制を整備している。</p>		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、丁寧に対応するように心がけている。ご家族に了承を得て、馴染みの呼称や、方言・言葉かけを行っている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る限り、本人に決定して頂き、日常会話の中で、思い・希望を引き出せるように努めている。また、思いを表現できる場面作りに努めている。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全員が同じ事をされるのではなく、その方に応じて、散歩にお連れしたり、裁縫や調理の手助けをさせていただいている。季節に合わせた、行事も取り入れている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理容・美容室を利用する際に送迎を支援したり、一緒に買い物に行き、服や靴を購入されたり、使い慣れた化粧品を購入されている
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方の体調や、能力に応じ、職員と一緒に調理の手伝い（もやしの根切りなど）・準備や片付けを行う事で、食事時間を楽しんでもらえるように努めている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主治医へ相談し、各々に応じた食事量や飲水量を確保し、健康状態にあわせて、トロミ食・キザミ食などの工夫を行い、栄養バランスに気をつけて、提供している。

42	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食前・後のうがいと食後の口腔ケアを行っている。ブラッシングが十分に出来ない方は、介助を行い清潔を保っている。義歯は洗浄剤にて消毒を行っている。</p>		
43	<p>16 ○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>それぞれの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄に心がけている。尿意がはっきりされない方は、定期的にトイレ誘導し、失禁が減るように努めている。居室内にトイレがある為、支援しやすい。</p>		
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日の体操や個別のリハビリを行って体を動かしていただき、水分摂取量を把握し、運動・食事・水分での自然排便に取り組んでいる。</p>		
45	<p>17 ○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>日曜日以外は毎日入浴が可能で、失禁時には、時間に関係なく、シャワー浴を行っている。入浴の際は、転倒防止のためのマットを使用したり、入浴剤を入れ、楽しく入浴できるように、工夫している。</p>		
46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中は、体操や散歩・日光浴、外出などで楽しく過ごされるように努め、夜間は良眠していただけるように、心がけている。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の目的・副作用・用法・用量は出来るだけ把握し、新しく開始になる薬や、中止した時は細かく、記録に残し、職員全員で確認を行っている。</p>		

48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの性格や、出来る力を活かし、裁縫をして頂いたり、手芸・工作、お手伝いや楽しみごとを支援している。</p>		
49	<p>18 ○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>その方に応じて、買い物に出かけたり、おやつ外出に出かけるなど、ご家族と協力しながら希望にそえるように努めている。</p>		
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>可能な方は、ご家族の同意のもと、お金を所持されている。必要に応じて、事務所での保管を支援している。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>ご本人が希望される時は、電話をかけたたり、手紙を書いていただき、職員と一緒に出しに行くなどの支援を行っている。</p>		
52	<p>19 ○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ソファで談笑したり、光が気になるときは、カーテンを二重にするなど、居心地よく過ごしていただけのように、工夫している。また、季節感のある壁紙を飾ったりしている。</p>		
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアにはそれぞれの席があり、ソファも設けられ、それぞれの居場所が確保されており、穏やかに過ごされる。</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使われておられた馴染みの家具や、仏様などを持参して頂き、また、家族の写真や、メッセージなどを飾っていただく事で、自分の部屋として、居心地よく過ごせるように、工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フローアはバリアフリーになっており、居室には手作りの表札をかけ、手作りののれんを下げるなど、自分の居室がわからない方にも、目印になるように工夫している。		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
		○	2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない